

経営比較分析表（令和2年度決算）

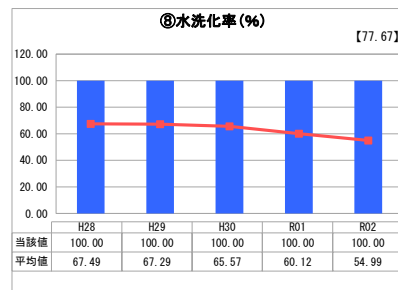
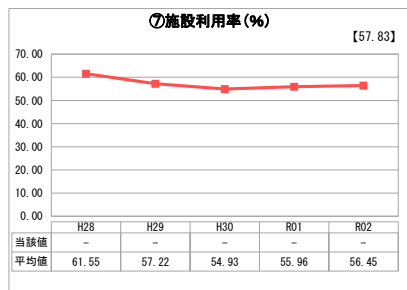
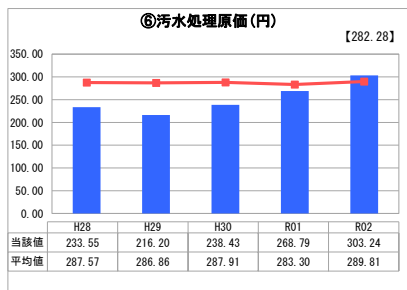
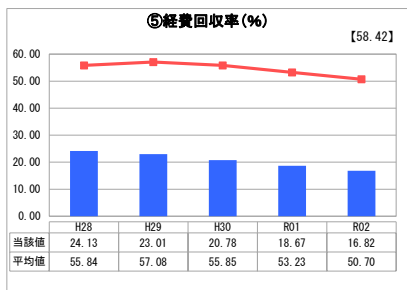
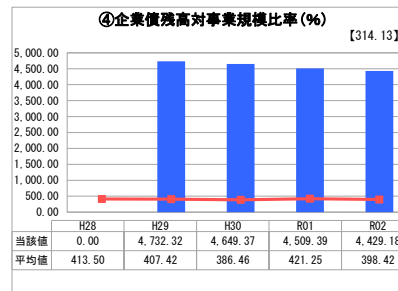
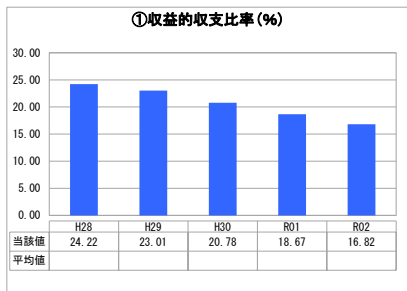
北海道 福島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.38	100.00	1,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,859	187.25	20.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
356	0.01	35,600.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

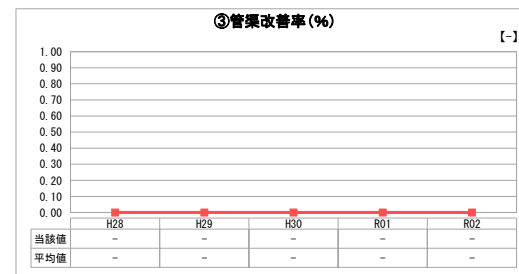
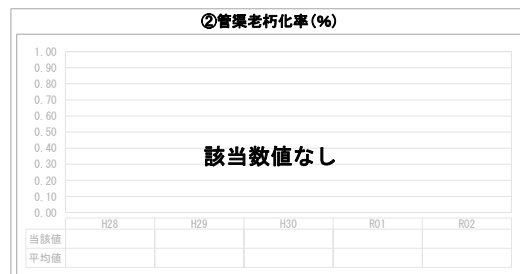
1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率において21%前後を推移しており、現状については赤字である。現在事業を進めるにあたり、浄化槽使用料以外の歳入の主たるものは国庫補助金、企業債、過疎債、一般会計からの繰入金（以下繰入金）で、その中でも繰入金の占める割合が高い現状にある。事業開始から浄化槽の設置促進を第一として進めてきた経緯もあり、現状では収益確保は極めて厳しい現状にある。今後、経営健全化をはかる上で収益確保が最重要と思われる。

2. 老朽化の状況について

事業開始が平成23年からのため、設置した浄化槽については老朽化はみられないが、譲渡された浄化槽については今後注視する必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

平成23年度より河川等の衛生環境改善のため浄化槽の設置を第一として事業をすすめてきた。今後も設置促進を主として事業をすすめていく予定だが、人口減少及び高齢化による設置希望者の減少、それに伴う収益の低迷等を考慮すると、将来的には浄化槽の安定した維持管理のため使用料の改定も検討する必要があると思われる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。